

再開発担当

六本木五丁目西地区地区計画の決定（原案）について

# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

## 1 計画地の位置・地区の概要

当地区は、補助線街路第4号線や環状第3号線などの幹線道路に面し、地下鉄六本木駅に近い交通利便性の高い約10.3haの地区です。

都市再生緊急整備地域における地域整備方針では、六本木地域に国際性豊かな交流ゾーンを形成することを目標としており、東京都のマスタープランでは、業務、商業、居住、教育、文化、国際交流などの多様な機能の集積や、文化会館や庭園などの資源を活かした市街地の更新を目指すとしています。

また、港区まちづくりマスタープランでは、六本木駅周辺を都市機能が集積する拠点に位置付け、地下鉄駅などの交通結節機能の強化、文化性や国際性の豊かな商業・業務・交流機能の集積の促進、外国人を含めた多様な人々のニーズに対応した居住、文化、教育などの生活環境の整備を六本木周辺の整備方針としています。

一方、当地区内には、細街路や行止り道路が存在し、緊急輸送道路沿いに多くの旧耐震建物が残るとともに、土砂災害特別警戒区域が広く指定されるなど、防災面に課題があります。また、六本木交差点の混雑に伴う外苑東通りの左折車線の渋滞や、学校などに面する特別区道第849号線への通過交通の流入など、自動車交通の課題を抱えています。さらに、地下鉄駅構内の混雑やバリアフリー動線の不足に加え、駅周辺のバス・タクシー乗り場の分散など、駅前拠点としての交通利便性が不十分です。

これらの上位計画や地区の課題を踏まえ、駅まち広場や交通結節広場、道路ネットワークや地区内のバリアフリー動線など、六本木駅前の拠点を支える都市基盤を整備するとともに、合理的かつ健全な土地利用と多様な都市機能の集積により、魅力的な複合市街地を形成します。

■位置図



出典：国土地理院ウェブサイト (https://www.gsi.go.jp/) ※基盤地図情報を加工して作成

■航空写真



出典：空中写真閲覧サービス空中写真データ (国土地理院) を加工して作成

## 2 まちづくりの目標と取組内容

### 1 新たな拠点を支える都市基盤の整備

- (1) まちに開かれた交通結節点の整備
- (2) 駅とまち、まちとまちをつなぐ、安全で快適なネットワークの形成
- (3) 六本木交差点周辺の道路ネットワークの再編

### 2 国際競争力強化に資する都市機能の導入

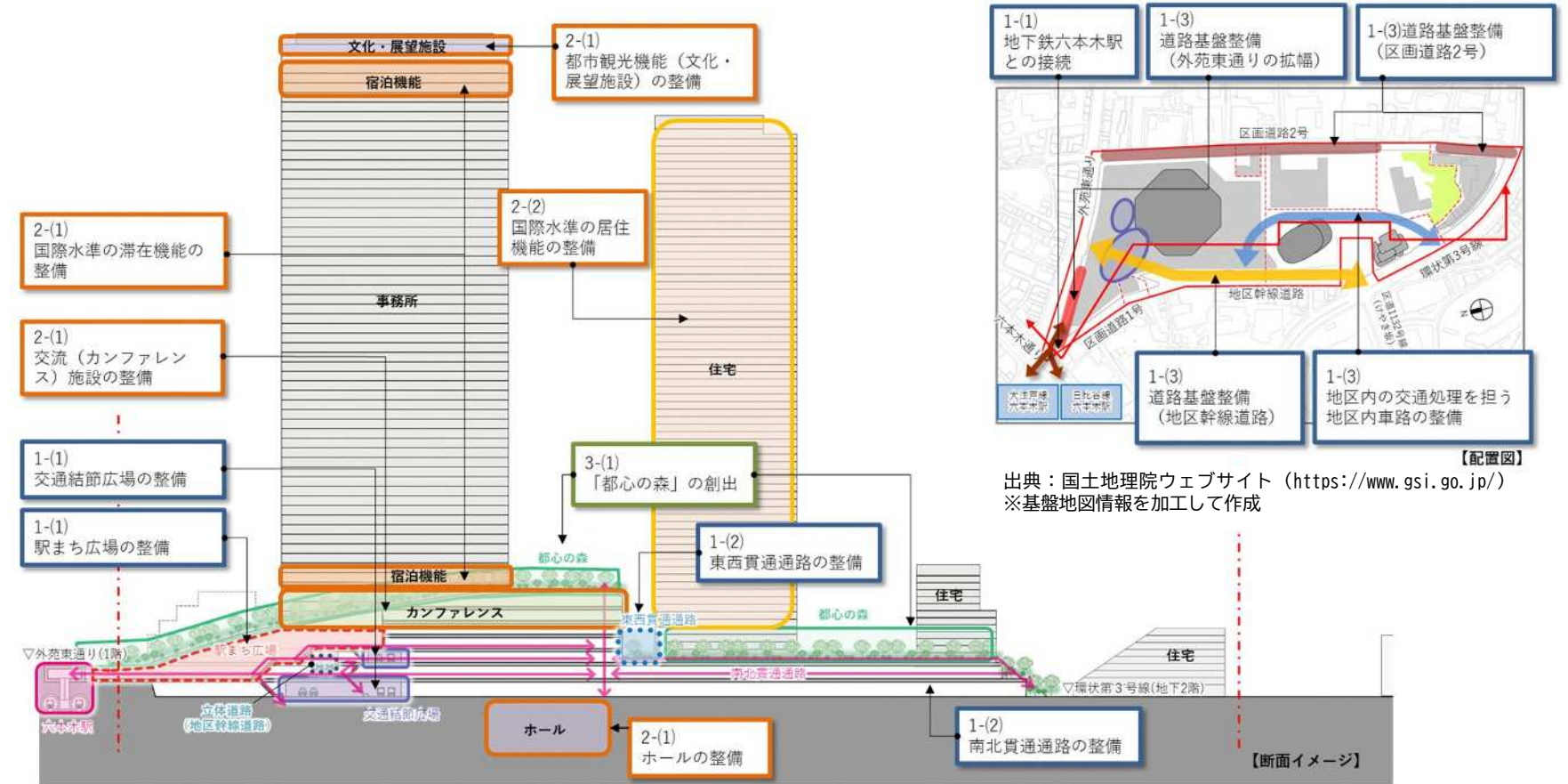
- (1) 六本木の特性を活かした文化・交流 (MICE)・宿泊機能等の整備
- (2) 外国人就業者、居住者に対応する国際水準の居住機能の整備

### 3 環境への取組と防災対応力強化

- (1) 「都心の森」の創出
- (2) 地域の防災対応力の強化に向けた取組
- (3) 環境負荷低減に向けた取組

## 3 整備イメージ

地下鉄駅を中心とした交通結節機能や国際競争力の強化に資する都市機能の導入により、魅力ある新たな拠点を形成



出典：国土地理院ウェブサイト (https://www.gsi.go.jp/) ※基盤地図情報を加工して作成

## 4 これまでの主な経緯

平成18年10月 (2006年10月)  
鳥居坂西地区安全安心まちづくり協議会設立

平成20年3月 (2008年3月)  
六本木五丁目西地区市街地再開発準備組合設立

## 5 今後のスケジュール (予定)

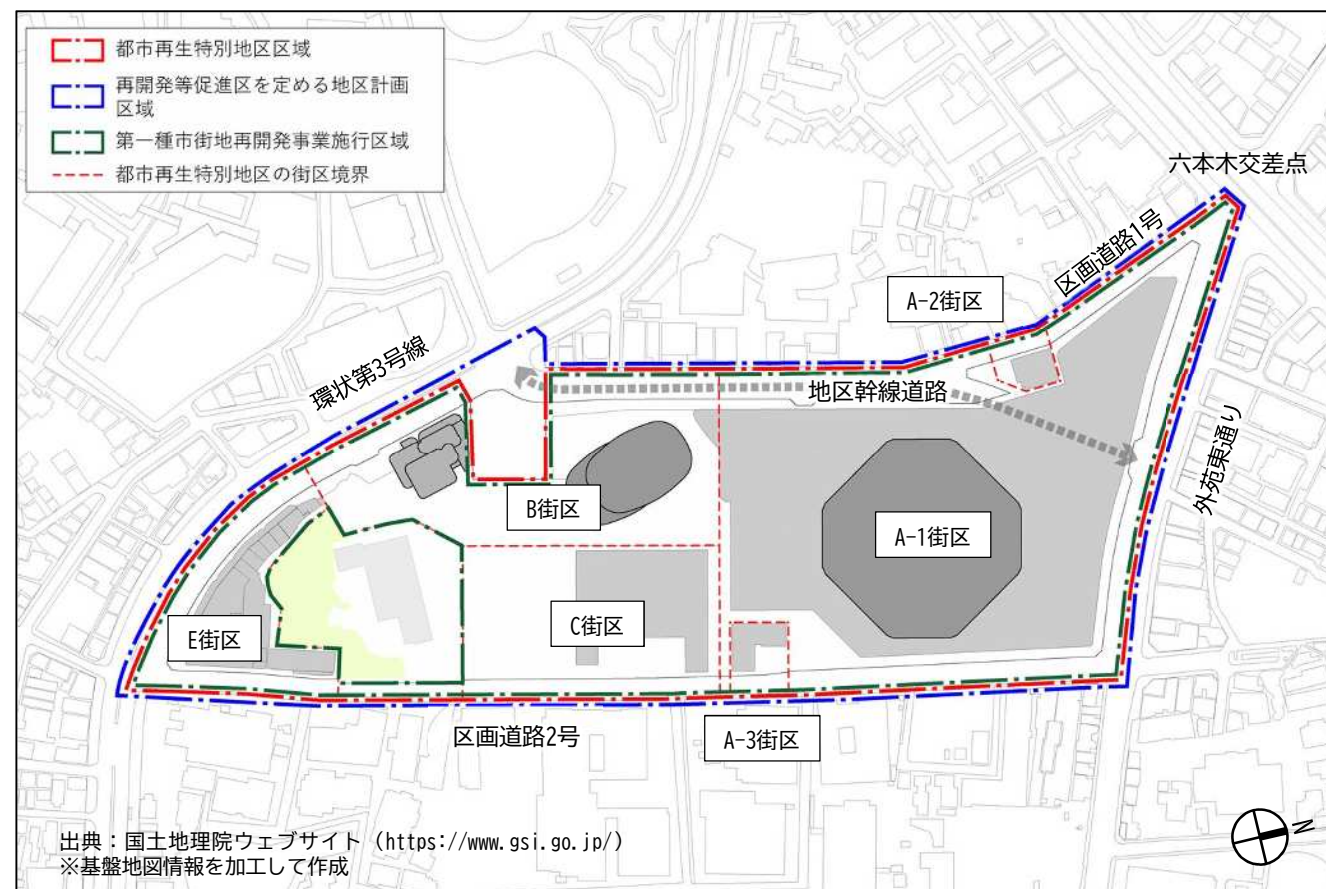
令和5年度 (2023年度)	都市計画決定
令和6年度 (2024年度)	組合設立認可
令和7年度 (2025年度)	権利変換計画認可
	工事着工
令和12年度 (2030年度)	しゅん工

# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

## 【施設建築物の概要】

街区別諸元	A街区			B街区	C街区	E街区
	A-1街区	A-2街区	A-3街区			
建築物の高さの最高限度 (高さの基準点)	327m (T. P. +25. 0m)	20m (T. P. +20. 5m)	20m (T. P. +27. 5m)	288m (T. P. +22. 0m)	35m (T. P. +27. 0m)	35m (T. P. +18. 0m)
敷地面積	約38, 600㎡	約680㎡	約1, 000㎡	約14, 400㎡	約11, 300㎡	約4, 900㎡
容積率の最高限度	1, 690%	120%	140%	1, 050%	150%	390%
延べ面積 (容積対象面積)	約794, 500㎡ (約649, 300㎡)	約1, 000㎡ (約810㎡)	約1, 400㎡ (約1, 400㎡)	約239, 100㎡ (約149, 900㎡)	約16, 900㎡ (約16, 900㎡)	約29, 200㎡ (約18, 700㎡)
主要用途	事務所、ホテル、 店舗、駐車場等	寺院	教会	共同住宅、店舗、 事務所、駐車場等	学校	共同住宅、店舗、 駐車場等
階数	地上66階、 地下8階	地上3階	地上3階、 地下1階	地上70階、 地下5階	地上6階	地上9階、 地下3階

## 【配置図】



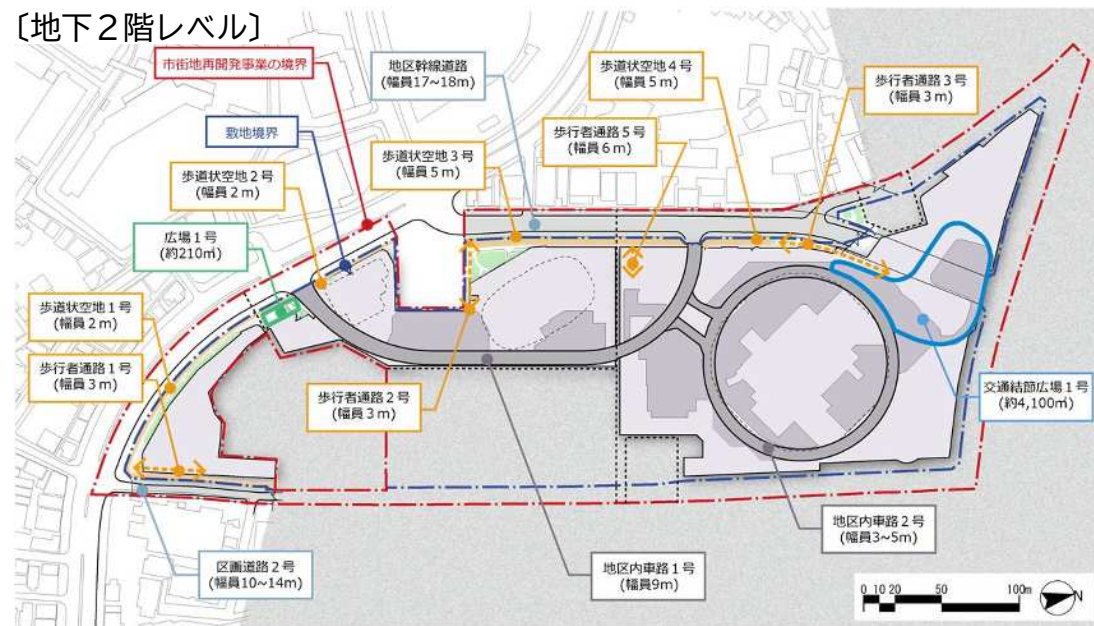
## 【イメージパース（地区西側より）】



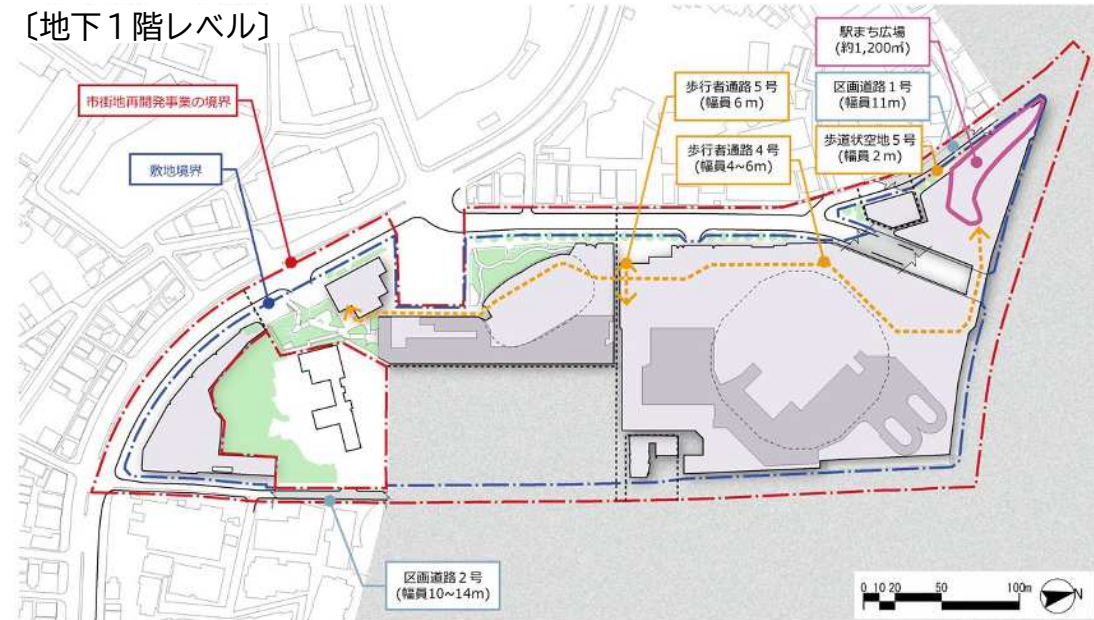
# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

## 【主な地区施設等の配置】

〔地下2階レベル〕



〔地下1階レベル〕



〔地上1階レベル〕



出典：国土地理院ウェブサイト  
(<https://www.gsi.go.jp/>)  
※基盤地図情報を加工して作成

## ○主要な公共施設（第一種市街地再開発事業区域内）

種類	名称	幅員	延長	面積	備考
道路	拡幅道路	0～5m	約140m	—	新設
	地区幹線道路	17～18m	約330m	—	拡幅・一部新設
その他の公共空地	駅まち広場	—	—	約4,600㎡	新設（昇降施設を含む。）
	交通結節広場1号	—	—	約4,100㎡	新設（昇降施設を含む。）
	交通結節広場2号	—	—	約1,700㎡	新設（昇降施設を含む。）
	地区内車路1号	9m	約270m	—	新設
	地区内車路2号	3～5m	約350m	—	新設

## ○地区施設（第一種市街地再開発事業区域内）

種類	名称	幅員	延長	面積	備考
道路	区画道路1号	11m	約160m	—	既設
	区画道路2号	10～14m	約530m	—	一部拡幅
その他の公共空地	広場1号	—	—	約210㎡	新設（階段を含む。）
	広場2号	—	—	約950㎡	新設
	緑地1号	—	—	約6,700㎡	新設 （昇降施設、階段を含む。）
	緑地2号	—	—	約10,000㎡	新設 （昇降施設、階段を含む。）
	歩行者通路1号	3m	約50m	—	新設（昇降施設を含む。）
	歩行者通路2号	3m	約30m	—	新設（昇降施設を含む。）
	歩行者通路3号	3m	約80m	—	新設
	歩行者通路4号	4～6m	約430m	—	新設（昇降施設を含む。）
	歩行者通路5号	6m	約130m	—	新設 （昇降施設、階段を含む。）
	歩行者通路6号	6m	約170m	—	新設（昇降施設を含む。）
	歩行者通路7号	6m	約80m	—	新設（昇降施設を含む。）
	歩行者通路8号	6m	約80m	—	新設 （昇降施設、階段を含む。）
	歩道状空地1号	2m	約230m	—	新設
	歩道状空地2号	2m	約50m	—	新設
	歩道状空地3号	5m	約110m	—	新設
	歩道状空地4号	5m	約30m	—	新設
歩道状空地5号	2m	約130m	—	新設	
歩道状空地6号	4m	約110m	—	新設	
歩道状空地7号	4m	約250m	—	新設	
歩道状空地8号	2m	約160m	—	新設	



# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

## 1 新たな拠点を支える都市基盤の整備

取組  
内容

【現況・課題】

- ・地区の東西を連絡する歩行者ネットワークが十分でない
- ・高低差のある地形により、歩行者空間に急勾配区間がある

【整備内容】

- ① 東西・南北方向の貫通通路の整備
- ② 歩行者ネットワーク結節点の整備
- ③ 外周の歩行者空間の整備

### (2) 駅とまち、まちとまちをつなぐ、安全で快適なネットワークの形成

#### ① 東西・南北方向の貫通通路の整備

- 地区内の高低差などを解消し、安全で快適な東西・南北の歩行者ネットワークを整備
- 適切な位置にエレベーターを設けることによりバリアフリー動線を実現

##### ■南北貫通通路のイメージ

- ・自動車交通と立体的に分離された安全で快適な動線を確保し、地区内を南北に貫く多層的な歩行者ネットワークを形成

<B1F>

地下鉄六本木駅と環状第3号線をバリアフリーでつなぐ動線

<1F>

外苑東通りと環状第3号線をバリアフリーでつなぐ動線



##### ■東西貫通通路のイメージ

- ・約10mの高低差を解消し、緑の中を散策しながら通り抜けできるバリアフリー動線
- ・地区幹線道路側に、賑わいエリアに相応しいゆとりある間口を設置
- ・特別区道第850号線と接続し、地区東側へ回遊性を高める歩行者ネットワークを形成



#### ② 歩行者ネットワーク結節点の整備

- 歩行者通路の交差点や周辺市街地との結節点には人の流れを受け止める滞留空間を整備



- 凡例
- ← 24時間開放のバリアフリー動線
  - EV 24時間開放のEV
  - EV EV
  - イメージバスの視点場



賑わいと緑が共存する六本木交差点の新たな顔となる地上の滞留空間



六本木五丁目交差点に面して人の流れを受け止める滞留空間



区画道路2号の落ち着いた環境に配慮した緑豊かなオープンスペース



隣接する街区と連携し、けやき坂下の交差点に向けて、人の流れを受け止め憩いや賑わいを創出するオープンスペース



麻布十番方面からの玄関口となるオープンスペース  
今後計画されている東京メトロ南北線の品川駅方面への延伸に伴い、麻布十番駅からの来街者が増加することが見込まれるが、当地区へのメインアクセスは、バリアフリーにも配慮された安全で快適なルートとなる麻布十番大通りとして計画している

出典：国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/>)  
※基盤地図情報を加工して作成

# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

## 1 新たな拠点を支える都市基盤の整備

取組  
内容

【現況・課題】

- ・地区の東西を連絡する歩行者ネットワークが十分でない
- ・高低差のある地形により、歩行者空間に急勾配区間がある

【整備内容】

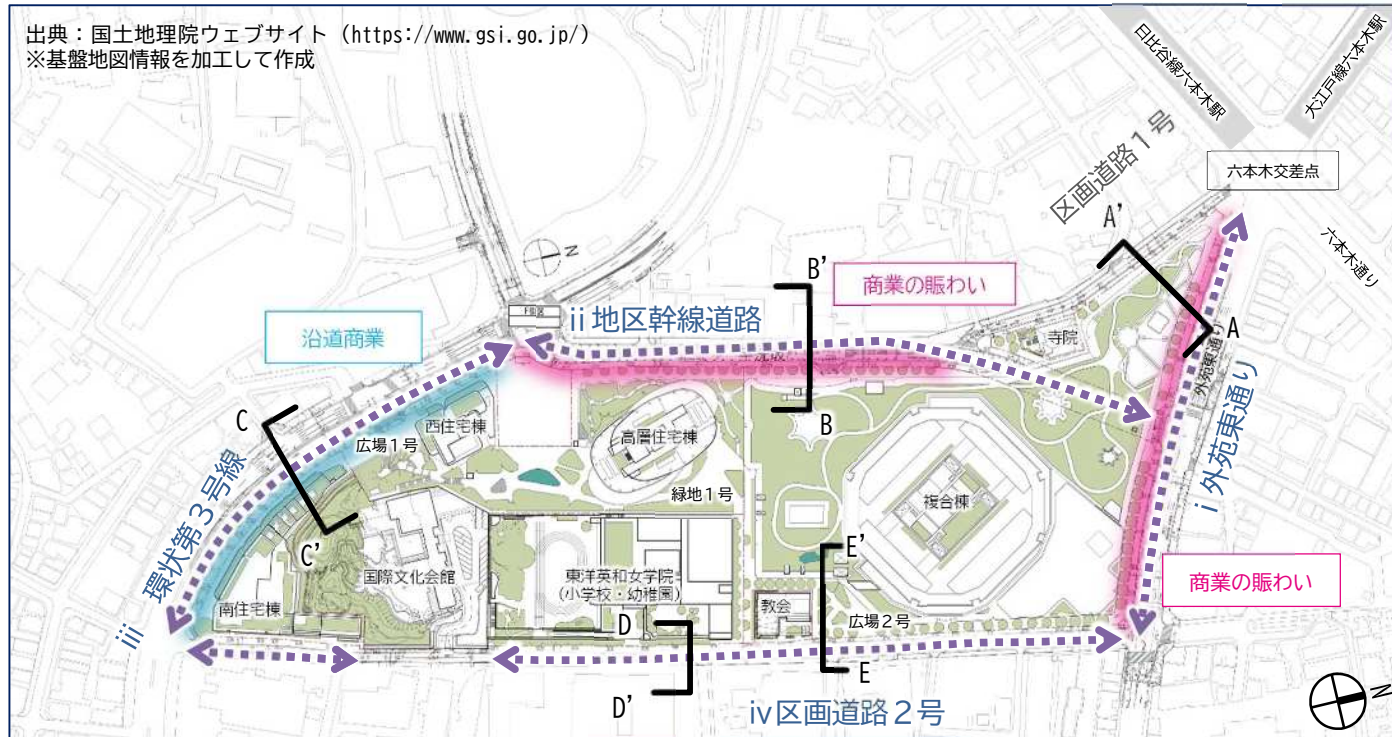
- ① 東西・南北方向の貫通通路の整備
- ② 歩行者ネットワーク結節点の整備
- ③ 外周の歩行者空間の整備

### (2) 駅とまち、まちとまちをつなぐ、安全で快適なネットワークの形成

#### ③ 外周の歩行者空間の整備

- 外苑東通り沿道では、六本木エリアの商業の賑わいを継承する歩行者空間を整備
- 地区幹線道路沿道では、商業の賑わいが連続する歩行者空間を整備
- 環状第3号線沿道では、麻布十番の賑わいを六本木方面へ延伸する快適な歩行者空間を整備
- 区画道路2号沿道では、外苑東通りから南に向かう人の流れを受け入れるゆとりある歩行者空間と、文教エリアに相応しい落ち着いた歩行者空間を整備

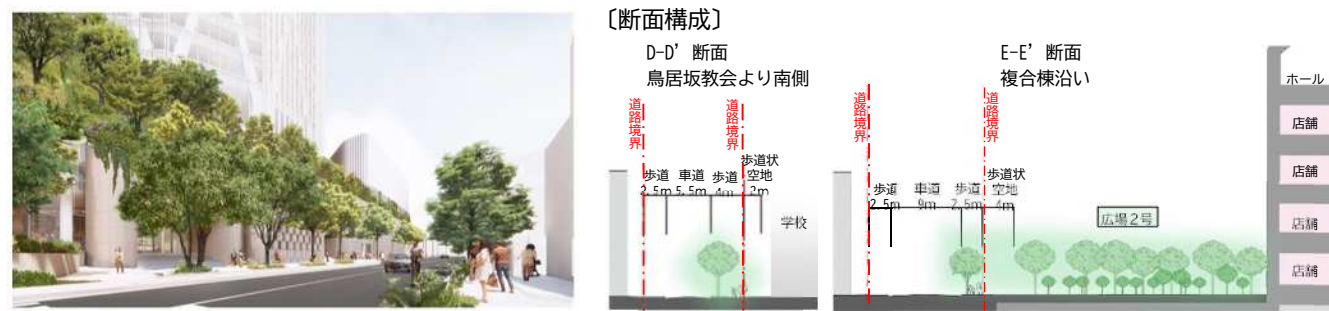
出典：国土地理院ウェブサイト (https://www.gsi.go.jp/) ※基盤地図情報を加工して作成



#### iv 区画道路2号～沿道の文化教育施設との調和～

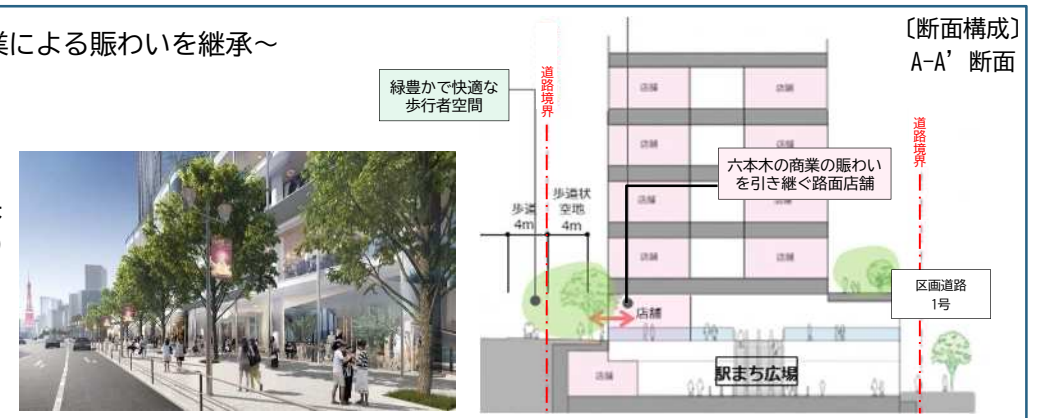
複合棟沿いでは、南北歩行者ネットワークの一部として、歩道空間に加えてゆとりある歩道状空地を整備することにより、快適な歩行者空間を確保する。また、広場2号を介してバリアフリーにも配慮した緑豊かでゆとりある歩行者空間（緑地1号～広場1号）と連続することにより、南北の歩行者ネットワークを形成

鳥居坂教会より南側については、文教エリアの落ち着いた歩行者空間を整備



#### i 外苑東通り ～商業による賑わいを継承～

歩道と歩道状空地を一体的に整備することにより幅員約8mの歩行者空間を確保し、六本木の商業の賑わいを引き継ぎ、飯倉片町、東京タワー方面へ賑わいを延伸



#### ii 地区幹線道路 ～商業による賑わいを継承～

商業の賑わいが連続する歩行者空間とし、対岸の小規模な店舗と一体となった賑わいを形成



#### iii 環状第3号線 ～麻布十番の賑わいを六本木方面へ延伸～

既存の麻布十番大通りの賑わいの軸に加え、環状第3号線にも新たな賑わいの軸を形成



# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

## 1 新たな拠点を支える都市基盤の整備

取組  
内容

【現況・課題】

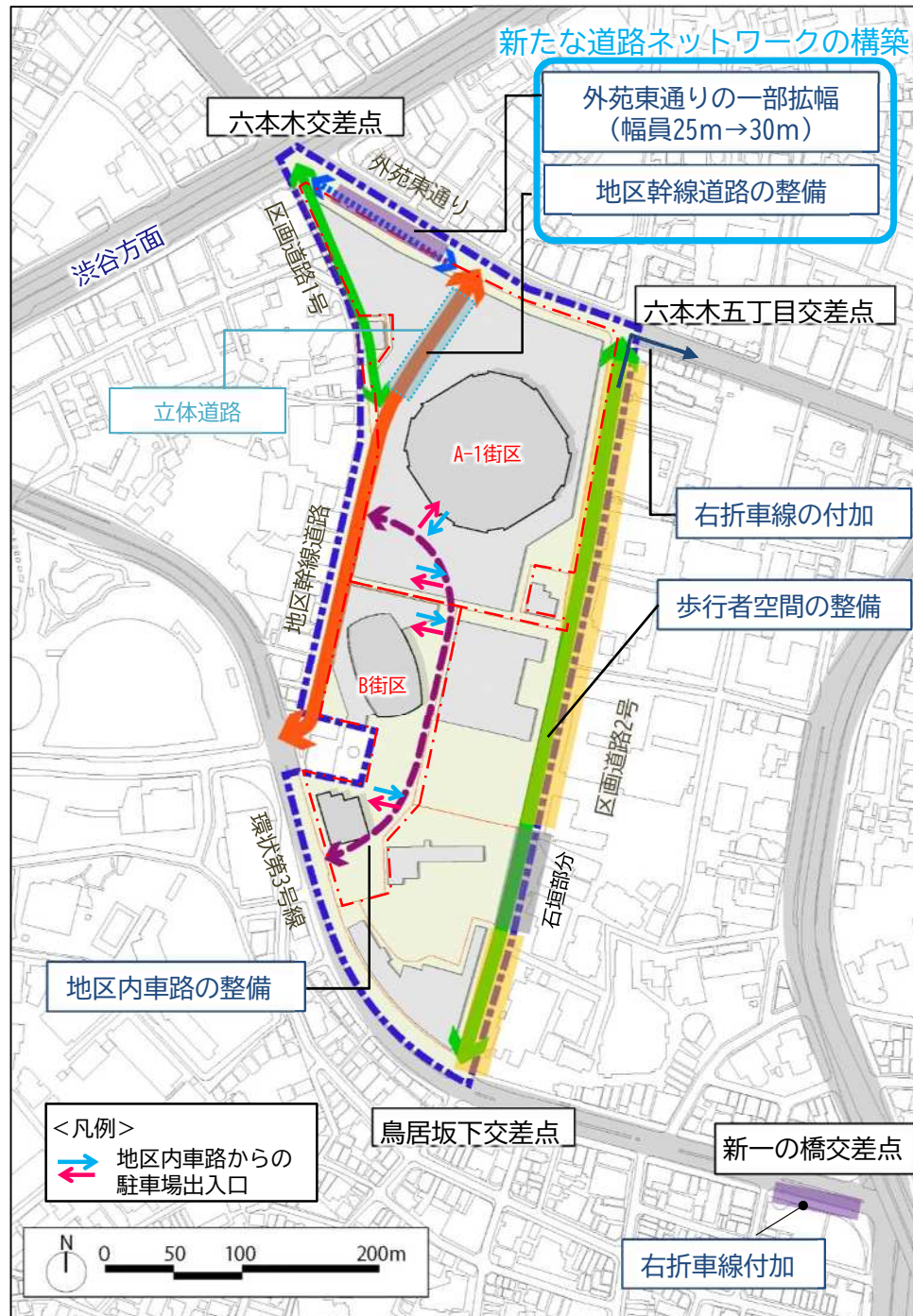
- ・外苑東通りと環状第3号線間の通過交通が特別区道第849号線（区画道路2号）へ流入
- ・六本木五丁目交差点における右折車線の容量不足
- ・新一の橋交差点における右折車線の容量不足

【整備内容】

- ① 周辺の良い生活環境に配慮した道路ネットワークの整備

### (3) 六本木交差点周辺の道路ネットワークの再編

#### ① 周辺の良い生活環境に配慮した道路ネットワークの整備



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/>)  
※基盤地図情報を加工して作成

#### ■区画道路2号の整備

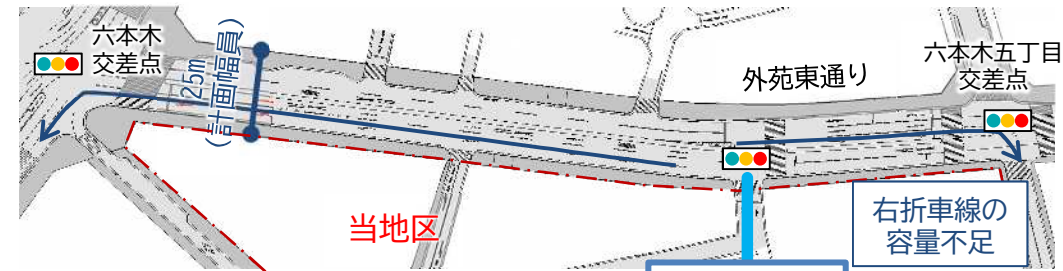


#### ■地区幹線道路の整備

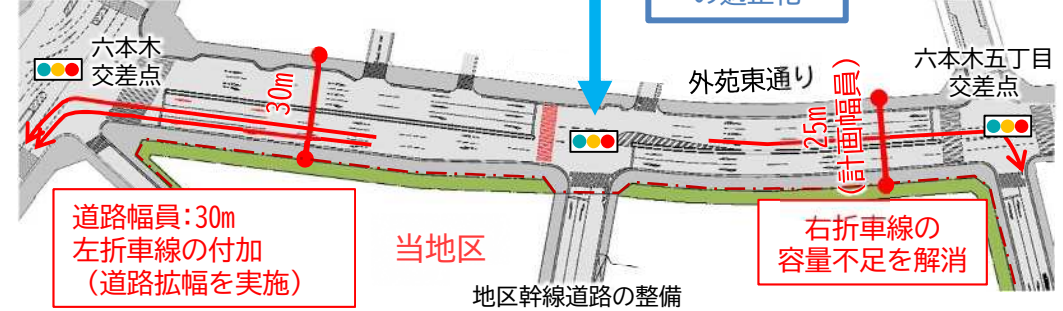


#### ■外苑東通りの整備

現況



計画 (再開発事業完了時)



- 地区幹線道路の整備により、外苑東通りと環状第3号線をつなぐ新たな道路ネットワークを形成
- 区画道路2号を通らずに駐車場へ出入するため、地区内車路（幅員約9m）を整備し、A-1街区及びB街区の駐車場出入口を集約。併せて周辺道路への交通負荷を抑制
- 区画道路2号の歩道を拡幅し、地域住民や児童・生徒にとっても安全で快適な歩行環境を形成
- 交差点位置の適正化と、外苑東通りを一部拡幅（道路幅員25m→30m）して左折車線を付加することにより、六本木五丁目交差点の右折車線の混雑を解消
- 新一の橋交差点において、右折車線を付加することにより計画地側の右折車線の混雑を解消



# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

取組  
内容

## 2 国際競争力強化に資する都市機能の導入

【整備内容】

- ① MICEを誘致するための競争力強化に資するイベントホール・カンファレンス施設の整備
- ② 魅力あるアフターコンベンションにも資する都市観光施設、エンターテインメント施設及び国際水準の宿泊施設の整備

### (1) 六本木の特性を活かした文化・交流 (MICE)・宿泊機能等の整備

#### ① MICEを誘致するための競争力強化に資するイベントホール・カンファレンス施設の整備

- 国際会議など大規模イベントの開催も可能な六本木エリアで最大級のイベントホール（約2,000㎡）と大規模イベント時に分科会会場や控室としても利用可能な中小規模のホールが一体的に利用できるよう同フロアに整備
- DMO六本木（※）と連携することによりエリアブランディングの強化に貢献



#### ■ 国際会議/学術会議



#### ■ 大型プライベートショー



#### ■ e-Sports



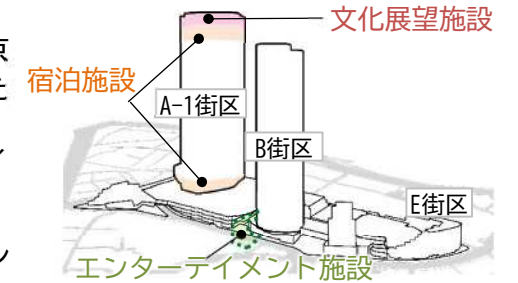
出典：フリー資料サイト「バクタソ」

#### ■ 一体的な利用イメージ

(イベント例)	イベントホール	中・小ホール/会議室
国際会議/学術会議	メインイベント	分科会会場/事務局/懇親会等
大型プライベートショー	メインセッション/ 企業商品展示	分科会会場/事務局/懇親会
大型ファッションショー	ランウェイ/観客席	参加企業ブース/ 展示・商談スペース/事務局
e-Sports	競技ステージ/観客席	協賛企業ブース/ 体験スペース/ 展示・商談スペース/事務局

#### ② 魅力あるアフターコンベンションにも資する都市観光施設、エンターテインメント施設及び国際水準の宿泊施設の整備

- テクノロジーを使ったメディアアート、ギャラリーなど、東京独自の魅力を発信する文化施設、約320mの高さを活かした展望施設を併設した文化展望施設（約8,000㎡）や外国人観光客、ビジネスワーカーが快適に滞在できる国際水準のハイクラスホテル（約48,000㎡）をA-1街区に整備
- 演劇やコンサート等にも対応可能なエンターテインメントホール（約8,000㎡）をA-1街区地下に整備



#### 【文化展望施設】



- 約320mからの眺望を活かした当地区ならではの施設を創出することで、世界からの集客を目指す
- フロア全体を一体的に使い、ダイナミックな体験が可能な施設を整備



文化展望施設階平面イメージ

#### 【宿泊施設】



#### 【エンターテインメントホール】



出典：Shutterstock

出典：パブリックドメインQ

(※) DMO六本木は、「東京・六本木エリアのブランディングアップと活性化を目指す」を目標に掲げ、会議施設、ホテル、エンターテインメント施設、ユニークベンチャー、ユニークサービス、デベロッパーの民間19社が参加する組織（2018/4現在）

# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

取組 内容	2 国際競争力強化に資する都市機能の導入
	<p>【整備内容】</p> <p>① 国際水準の居住機能の整備</p> <p>② 多様な住環境を備えた居住機能の整備</p>

## (2) 外国人就業者、居住者に対応する国際水準の居住機能の整備

### ① 国際水準の居住機能の整備

- 海外高度人材を呼び込むために、国際水準の居住機能（約96,000㎡）を整備
- 外国人の居住ニーズにも対応した大型住宅の整備
- コンシェルジュ機能を持った24時間バイリンガルフロントサービスやドアマン、ポーターサービス、フィットネスジム、ハウスキーピングなど、国際水準の生活支援サービスを提供

国際水準の居住機能  
<大型住宅のイメージ>



平均住戸面積 約150㎡

国際水準の生活支援



バイリンガルフロント

ハウスキーピング

- ・「未来の東京」戦略（令和3年3月）では、海外高度人材を18,296人（2019年）から2030年に50,000人とする目標が掲げられている。
- ・当地区周辺は、職住近接を実現しやすく、国際性が豊かで、海外高度人材を含む外国人にとって住みやすい生活環境となっている。当地区における都市機能の整備により、更に外国人居住者にとって暮らしやすい生活環境を提供する。

#### ■職住近接

- ・六本木ヒルズや東京ミッドタウンなどの大規模開発などにより、オフィスビルや商業施設、多様なニーズに対応した都市型住宅が集積している。
- ・当地区における事務所・商業・文化施設・住宅の機能の整備により、更に職住近接に適した機能が集積する。

#### ■国際性豊かなエリア

- ・六本木は外資系企業が多数立地しており、周辺にはインターナショナルスクールや大使館・領事館が集積しているため、外国人就業者、居住者が多く、医療施設等の生活支援施設も充実している。

### ② 多様な住環境を備えた居住機能の整備

#### 高層住宅棟

- ・国際競争力強化に資する外国人向けの都心型住宅
- ・多様なニーズに対応した居住環境の創出と国際水準の居住サービスを提供

総戸数：約800戸  
住居規模：約40㎡～630㎡



#### 南住宅棟

- ・従前権利者を中心とした住宅
- ・セントラル鳥居坂、鳥居坂レジデンス鳥居坂三生マンションと同位置に配置

総戸数：約100戸  
住居規模：約30㎡（※）～160㎡



#### 西住宅棟

- ・従前権利者を中心とした住宅
- ・ハynes麻布鳥居坂とほぼ同位置に配置

総戸数：約50戸  
住居規模：約35㎡（※）～180㎡



#### 高層住宅棟



※当地区では、住生活基本計画における都市居住型の誘導居住面積水準（40㎡）以上の住戸を基本に計画しているが、地権者の生活再建のため、一部40㎡未満の住戸を整備する。

# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

取組  
内容

## 3 環境への取組と防災対応力強化

【整備内容】

「都心の森」の創出



- ① 自立分散型エネルギーシステム導入によるBCP性能の向上
- ② 帰宅困難者支援機能の整備

- ③ 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の解除
- ④ その他の取組

### (1) 「都心の森」の創出



- 広大な敷地を一体的に緑で覆う立体的な屋上庭園（約16,000㎡）の整備により、国際文化会館の庭園（旧岩崎邸庭園）と連なる、緑豊かでまとまったオープンスペースを創出
- 六本木交差点や外周道路からの接続に加え、東西・南北の貫通通路とも接続した良好なアクセス環境により、地域に開かれた憩いや交流の場として活用

### (2) 地域の防災対応力の強化に向けた取組

#### ① 自立分散型エネルギーシステム導入によるBCP性能の向上

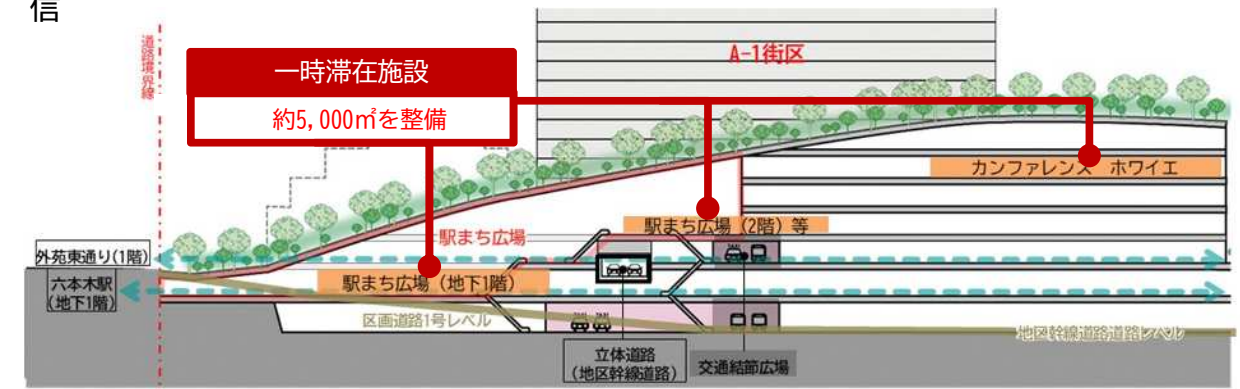


< A-1 街区 >

- 災害時において安定的なエネルギー供給を行うため、コジェネレーションシステム（CGS）と非常用発電機を設置
- 非常用発電機は、都市ガスと液体燃料を併用して運転できる方式を導入（都市ガスの供給が途絶えた場合は、液体燃料により72時間対応）

#### ② 帰宅困難者支援機能の整備

- 六本木交差点に面する大規模な駅まち広場など、合計約5,000㎡の帰宅困難者の一時滞在施設を確保
- 災害時に、駅まち広場のサイネージ等を活用し、帰宅困難者に対して災害情報等を発信



#### ④ その他の取組

- 非常災害用井戸を整備し、トイレ洗浄水などの水源を確保
- 防災備蓄倉庫を整備することで防災対応力強化に貢献
- エリア全体での防災対応力向上のため防災訓練を実施
- 感染症対策として非接触型セキュリティシステムなどの導入を検討



一時滞在施設への受入イメージ

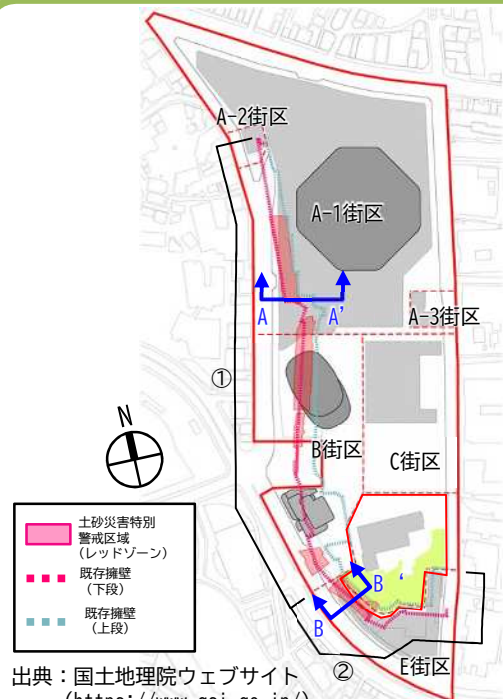
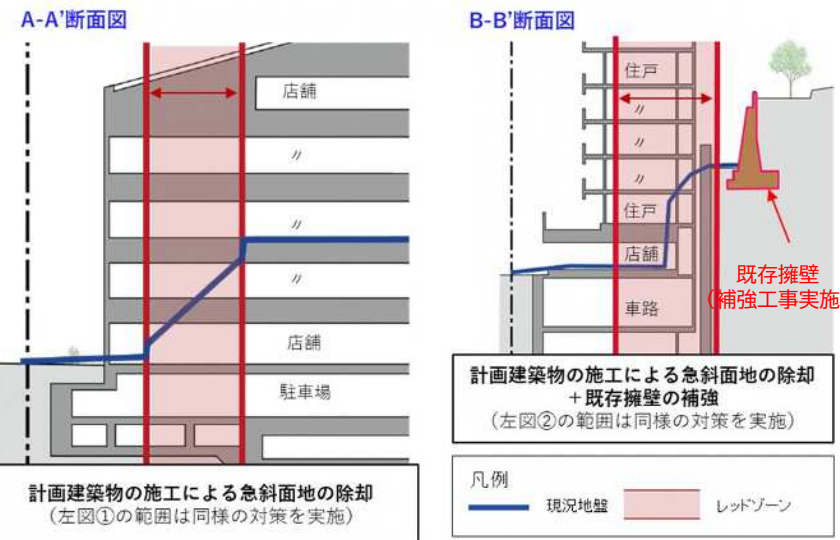
非常災害用井戸の整備

防災備蓄品の整備

防災訓練のイメージ

#### ③ 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の解除

計画建築物の施工により土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されている急斜面地を除去し、土砂を受け止める建築擁壁の整備及び既存擁壁の補強を実施



出典：国土地理院ウェブサイト  
(<https://www.gsi.go.jp/>)  
※基盤地図情報を加工して作成

# 六本木五丁目西地区の街づくりについて

取組  
内容

## 3 環境への取組と防災対応力強化

【整備内容】

- ① 自立分散型エネルギーシステム導入によるBCP性能の向上 ② 脱炭素へ向けた取組 ③ 開発スケールを活かした取組・電力ひっ迫時の対応

### (3) 環境負荷低減に向けた取組

#### ① 自立分散型エネルギーシステム導入によるBCP性能の向上

- 街区全体で様々な省エネ技術を導入することにより、エネルギー・資源の積極的な有効利用を図る。
- A-1街区の事務所部分については、ZEB Readyの基準を達成する。地区全体の非住宅用途部分における一次エネルギー消費量は、最先端の技術を活用して省エネルギー化を実現し、ZEB Orientedの基準でそれぞれの用途別に算出した一次エネルギー消費量の合計以下となることを目指す。
- 住宅部分についてはZEH-M Orientedを目指す。
- 東京都建築物環境計画書制度の「建築物外皮の熱負荷抑制」及び「設備システムの高効率化」の項目で段階3の水準を確保する。
- CASBEEのAランクを達成するとともに、Sランクの取得を目指す。

#### エネルギーの効率利用と省エネルギー

- ・地域冷暖房の導入
- ・大規模蓄熱槽の導入
- ・高効率機器の導入
- ・CGS排熱の有効利用
- ・大温度差送水システムの採用
- ・中温冷水を利用した空調システムの採用
- ・外気冷房制御、CO<sub>2</sub>濃度による外気導入量最適制御の導入
- ・人感センサー、昼光センサーによる照明制御の導入
- ・トッランナー変圧器の採用
- ・BEMSの導入
- ・VAV、VWVの導入
- ・デマンドレスポンスの実施
- ・竣工後のコミッションングの実施

#### 熱負荷の低減

- ・高性能Low-e複層ガラスの採用
- ・断熱性能の向上
- ・屋上緑化、壁面緑化の実施など

#### 水資源の有効活用

- ・街区全体の水循環
- ・雨水、雑排水、ドレン水などの再利用
- ・節水器具の採用

#### ヒートアイランド現象の抑制

- ・大規模屋上緑化の実施
- ・保水性舗装、高反射塗装などの採用

#### 再生可能エネルギーの利用等

- ・太陽光発電設備の設置
- ・小水力発電の導入
- ・昼光利用の採用
- ・地中熱の導入

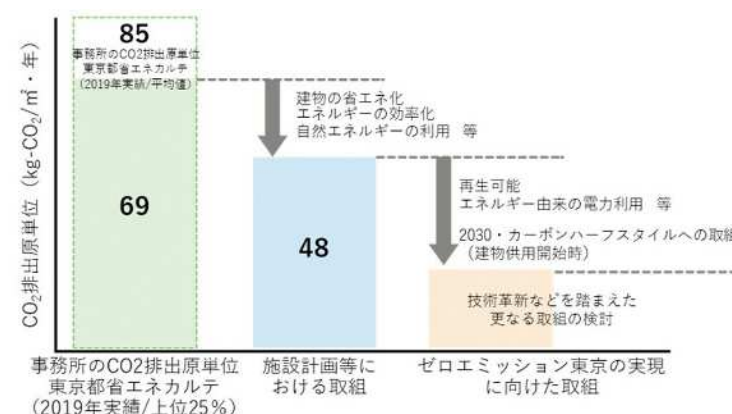
#### その他

- ・エコマテリアルの採用
- ・ZEV充電器対応

#### ② 脱炭素へ向けた取組

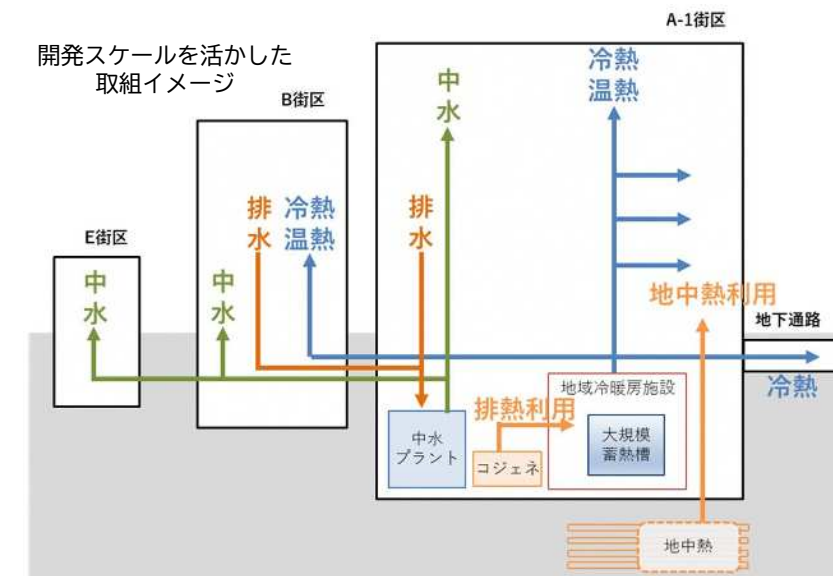
- 事務用途においては、建物供用開始時に48kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>2</sup>・年以下を目指すとともに、再生可能エネルギー由来の電力の積極的な利用などにより、2030年カーボンハーフの実現に向けて、CO<sub>2</sub>排出量の更なる削減を図る。
- 加えて、今後の社会状況の変化や技術革新を踏まえ、新たな省エネルギー技術の積極的な導入や再生可能エネルギー由来の電力利用を一層推進することで、ゼロエミッション東京の実現を目指す。

例)：提案事業者による「太陽光発電などのオフサイト再生電力の導入」等の創エネ事業の取組の推進



#### ③ 開発スケールを活かした取組・電力ひっ迫時の対応

- 地域冷暖房を導入し、エネルギー面的利用を推進し、高効率な熱供給を図る。
- 大規模蓄熱槽を設置し、電力負荷平準化、熱源の高効率運用を図るとともに、電気の需要と供給のバランスを保つために適切に電力使用量を制御（デマンドレスポンス対応）する。
- 広大な敷地を活かして水平方式による地中熱利用を行う。
- 街区全体で水循環システムを構築し、雨水・雑排水・空調ドレン水などを再利用する。



<電力ひっ迫時の蓄熱層・CGS活用によるデマンドレスポンス対応>

